2027年度　荻窪病院　（病床数　252）【1年次】

受入人数	【1年次】3名

常勤・非常勤	研修手当						勤務時間	休暇				当直/月	宿舎	社会保険・労働保険等
	基本手当		賞与		時間外	休日		有給		夏季	年末年始			
	1年次	2年次	1年次	2年次				1年次	2年次					
常勤	330,000		255,000		有	無	9：00～17：30	10		無	有	約4回/月	無 （住宅手当あり）	健康保険・厚生年金・雇用保険・労災加入

○ 研修診療科（必修科目）について

科目	研修内容（手技・症例数・指導医数等）
内科	常勤医師16名のうち、指導医は内科2名・循環器内科3名おり、地域医療を重視し急性期医療における診断から治療に至るまでの教育を行っており、臨床の中で繰り返し手技を実践することにより身に付けていくことができる。 循環器内科は虚血性心疾患・不整脈の診断治療を行っており、年間カテーテル治療約700件ほど実施。心臓血管外科との連携により24時間体制で診療している。 消化器内科は内視鏡検査治療、肝胆膵領域の診断治療など幅広く対応。上部下部内視鏡検査（止血・ESD）・胆膵内視鏡検査（ｽﾃﾝﾄ・EST等）・食道静脈瘤治療（EIS等）を約8,500件以上実施。肝癌治療（TACE・RFA）を含めた各種癌治療もおこない、消化器外科との連携も積極的である。 一般内科は市中肺炎等のポピュラーな疾患に対する診断から治療までの内科全般の診療と、糖尿病のコントロールなどの専門的診療を行っている。様々な患者を診療することにより基本的な診断能力を身に付けていくことを重視している。
救急科	非常勤医2名体制で対応しており、救急委員会委員長が総括責任者として指導医を兼任しています。一・二次救急病院として救急患者年間約8,000件以上でうち救急車約4,200件以上を受入れている。住宅地に立地し地域での知名度も高いため、救急車のみならず近隣の住民や学校から来院する方も多い。Common diseaseが多く、医師として今後関わっていく事が多い疾患・外傷に早くから習熟できる。ERに隣接する内視鏡センター、上の階にある血管造影室での速やかな治療的処置につなげている。様々な救急患者を経験することにより、研修医のうちに身につけるべき知識、診察技能、診断能力、手技、対人コミュニケーション能力が早く身につけられる。
外科	常勤医師7名のうち、指導医は3名おり、良性疾患から悪性疾患まで消化器系の疾患にはすべて対応しており、初期診断から手術に至るまでの臨床的な教育を重視しております。年間手術件数は約900件で、腹腔鏡手術の件数は約600件と積極的に行われているのが特徴である。
小児科	指導医は1名おり、主に外来にて健常児を対象とした乳幼児健診・予防接種を経験し予防医学に対する知識を習得する。新生児に対する検診や救急蘇生術を研修することも可能。
産婦人科	常勤医師7名のうち、指導医は2名おり、分娩・婦人科・不妊治療を中心に診療を行い、婦人科では良性疾患に対する腹腔鏡手術・子宮鏡手術を中心に手術を実施している。不妊部門は分院化し、より専門的に治療を行っている。＜不妊⇒検査⇒手術⇒不妊治療⇒妊娠⇒出産⇒新生児という一連のサイクルを学ぶことが可能＞
精神科	2年目に慶應義塾大学病院で研修する。
一般外来	「小児科」「内科」の小児科外来、一般内科外来おいて、研修医が診察医として指導医からの指導を受け、コンサルテーションや医療連携が可能な状況下で、単独で一般外来診療を行うことを目標として研修を行う。

必修科目の研修ができない場合、選択可能な診療科
麻酔科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、心臓血管外科、血液凝固科、眼科、放射線科、形成外科、脳神経外科

○研修アピール
荻窪病院では、「熱意がある人」「真摯である人」「チームワークを大切にする人」を求めています。

荻窪病院の研修医と合わせて1年目5名・2年目5名と最大で10名の研修医に対し、常勤医師が約80名と指導医が多く、経験できる手技も非常に多いため、充実した環境の中で研修が行えることが大きな特徴です。
また、診療科の異なる各科の医師が同じ医局室である総合医局制となるため、コミュニケーションが容易で、情報や意見の交換が活発に行われ、アットホームな雰囲気の医局です。研修医も皆と同じ環境になります。
　1年目の研修プログラムは当院にて、内科24週、救急科12週、外科・小児科・産婦人科より各4週以上研修を行うことができる。「小児科」「内科」の小児科外来、総合内科外来おいて、研修医が診察医として指導医からの指導を受け、コンサルテーションや医療連携が可能な状況下で、単独で一般外来診療を行うことを目標として研修を行う。

○研修医からのメッセージ
内科研修は、総合内科、消化器内科、循環器内科をそれぞれ2ヶ月ずつ研修します。総合内科は幅広く肺炎や糖尿病といった疾患を対象にプライマリケアに沿った診療をしています。消化器内科は実際に内視鏡に触れる機会も多く、たくさんの手技を学べます。循環器内科はカテーテル治療に富んでおり、急性期の循環器疾患を診ることができます。
外科では腹腔鏡手術が盛んで、様々な症例に対する腹腔鏡でのアプローチを診ることができます。

荻窪病院はコメディカルとともにチーム医療を展開しており、多職種カンファレンスを多くの診療科で定期的に開催しています。
大学病院とは違い、市中病院ならではのプライマリケアに富んだ医療に携わることができ診断能力を養うことが出来ます。指導医の指導のもと反復して手技を経験できるので、研修医のうちに様々な手技を身に付けたい方には特にお勧めです。

以下、慶應義塾大学病院から研修医への注意事項
・外科研修はその他の外科系の診療科への振り替えは認めません。
・必修科目がある病院では、必ず必修科目を研修してください。振り替えは認めません。

研修実施責任者　　内田　龍志

※問い合わせ先
担当部署・担当者名：　総務課　佐藤ちなみ

住所：　東京都杉並区今川３－１－２４
TEL：　０３－３３９９－１１０１
E-mail　：　jinjika2@ogikubo-hospital.or.jp

2027年度　荻窪病院　（病床数　252）【2年次】

受入人数	【2年次】3名

常勤・非常勤	研修手当				時間外	休日	勤務時間	休暇				当直/月	宿舎	社会保険・労働保険等
	基本手当		賞与					有給		夏季	年末年始			
	1年次	2年次	1年次	2年次				1年次	2年次					
常勤		380,000		608,800	有	無	9：00～17：30		11	無	有	約4回/月	無 （住宅手当あり）	健康保険・厚生年金・雇用保険・労災加入

○ 研修診療科（必修科目）について

科目	研修内容（手技・症例数・指導医数等）
地域研修（在宅を含む）	常勤医師16名のうち、指導医は内科2名・循環器内科3名おり、地域医療を重視し急性期医療における診断から治療に至るまでの教育を行っており、臨床の中で繰り返し手技を実践することにより身に付けていくことができる。 循環器内科は虚血性心疾患・不整脈の診断治療を行っており、年間カテーテル治療約700件ほど実施。心臓血管外科との連携により24時間体制で診療している。 消化器内科は内視鏡検査治療、肝胆膵領域の診断治療など幅広く対応。上部下部内視鏡検査（止血・ESD）・胆膵内視鏡検査（ｽﾃﾝﾄ・EST等）・食道静脈瘤治療（EIS等）を約8,500件以上実施。肝癌治療（TACE・RFA）を含めた各種癌治療もおこない、消化器外科との連携も積極的である。 一般内科は市中肺炎等のポピュラーな疾患に対する診断から治療までの内科全般の診療と、糖尿病のコントロールなどの専門的診療を行っている。様々な患者を診療することにより基本的な診断能力を身に付けていくことを重視している。
一般外来	「小児科」「内科」の小児科外来、総合内科外来おいて、研修医が診察医として指導医からの指導を受け、コンサルテーションや医療連携が可能な状況下で、単独で一般外来診療を行うことを目標として研修を行う。
外科	常勤医師7名のうち、指導医は3名おり、良性疾患から悪性疾患まで消化器系の疾患にはすべて対応しており、初期診断から手術に至るまでの臨床的な教育を重視しております。年間手術件数は約900件で、腹腔鏡手術の件数は約600件と積極的に行われているのが特徴である。
小児科	指導医は1名おり、主に外来にて健常児を対象とした乳幼児健診・予防接種を経験し予防医学に対する知識を習得する。新生児に対する検診や救急蘇生術を研修することも可能。
産婦人科	常勤医師7名のうち、指導医は2名おり、分娩・婦人科・不妊治療を中心に診療を行い、婦人科では良性疾患に対する腹腔鏡手術・子宮鏡手術を中心に手術を実施している。不妊部門は分院化し、より専門的に治療を行っている。＜不妊⇒検査⇒手術⇒不妊治療⇒妊娠⇒出産⇒新生児という一連のサイクルを学ぶことが可能＞
精神科	協力施設である「陽和病院（練馬区）」「東京海道病院（西多摩）」「井之頭病院（北多摩南部）」において精神科病棟・認知症病棟・精神科専門外来で研修を行う。
麻酔科	常勤医師7名のうち、指導医は2名おり、年間約4,000件ほど行われ、外科的手術の麻酔と周術期管理を身につけることができる。

○ 研修のアピール

荻窪病院では、
「熱意がある人」
「真摯である人」
「チームワークを大切にする人」
を求めています。

荻窪病院の研修医と合わせて１年目５名・２年目５名と最大で１０名の研修医に対し、常勤医師が８０名と指導医が多く、一人当たりの経験できる手技も非常に多いため、充実した環境の中で研修が行えることが大きな特徴です。
また、診療科の異なる各科の医師が同じ医局室である総合医局制となるため、コミュニケーションが容易で、情報や意見の交換が活発に行われ、アットホームな雰囲気の医局です。研修医も皆と同じ環境になります。

２年目の研修プログラムは、１年目で研修をしていない診療科より、外科・産婦人科・小児科・麻酔科を各４週以上研修を行うことができます。また、将来の進路に合わせて、内科・救急科・外科・麻酔科・整形外科・産婦人科・泌尿器科・小児科・心臓血管外科・血液凝固科・眼科・放射線科・脳神経外科・形成外科より選択することが可能です。
精神科及び地域研修は当院の協力施設にて研修を行うことも可能です。

○ 選択科目について（選択できる診療科）

内科（総合，消化器，循環器）		救急科	地域医療	外科
麻酔科	小児科	産婦人科	精神科	整形外科
皮膚科	泌尿器科	心臓血管外科	血液凝固科（血友病・ＨＩＶ）	
眼科	放射線科	形成外科	脳神経外科	
備考				
地域研修先施設：①徳之島徳洲会病院　②城西病院　③初台リハビリテーション病院				

※地域研修の施設は、記載されている協力型病院の施設に限られます。

研修実施責任者　　内田　龍志

※問い合わせ先
担当部署・担当者名：　総務課　佐藤ちなみ

住所：　東京都杉並区今川３－１－２４

TEL：　０３－３３９９－１１０１

E-mail　：　jinjika2@ogikubo-hospital.or.jp